

県管理河川の被災状況

【8月31日 時点】



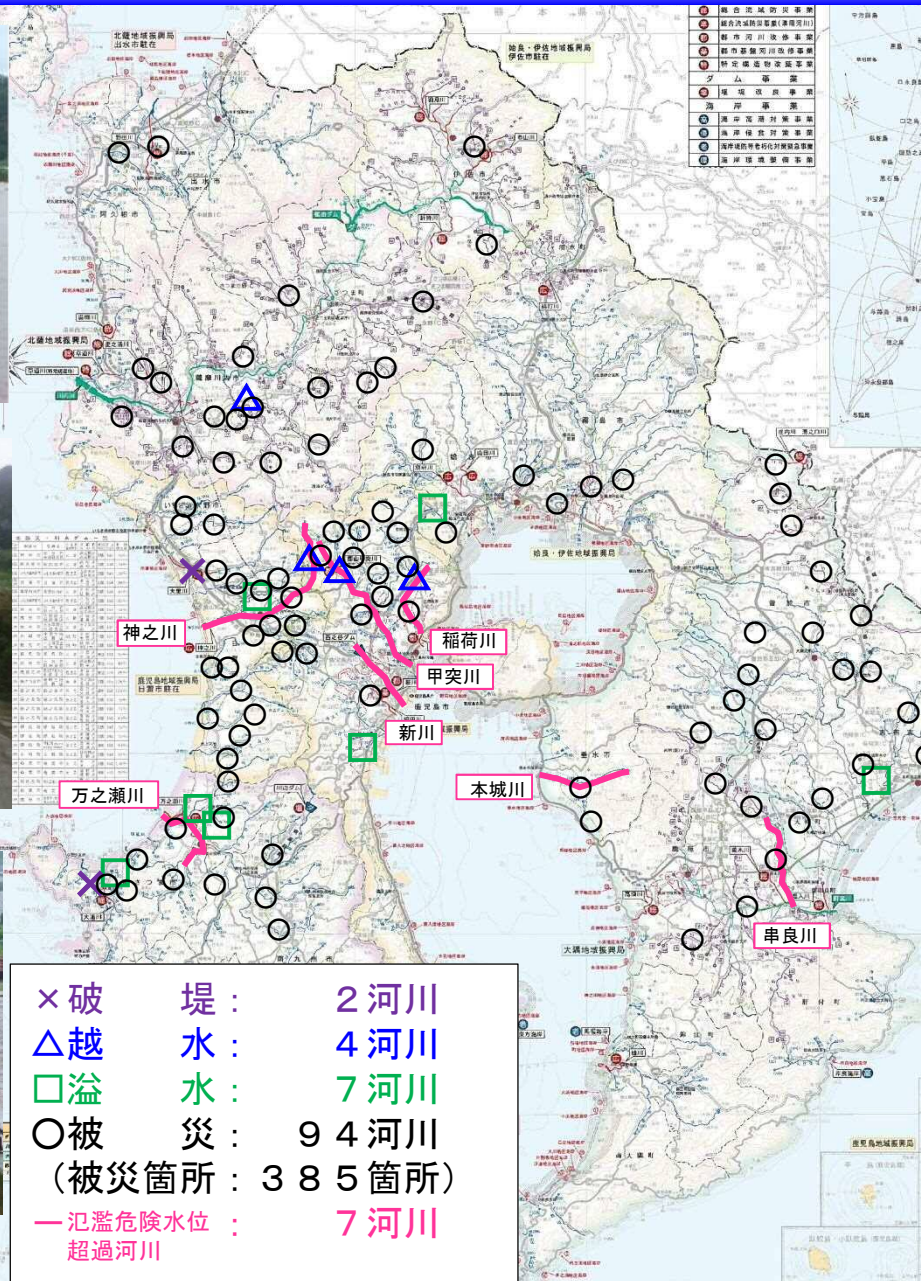
大里川(破堤)【応急復旧済】



甲突川(越水)



和田川(溢水)



大王川(破堤)【応急復旧済】



岸元川(溢水)



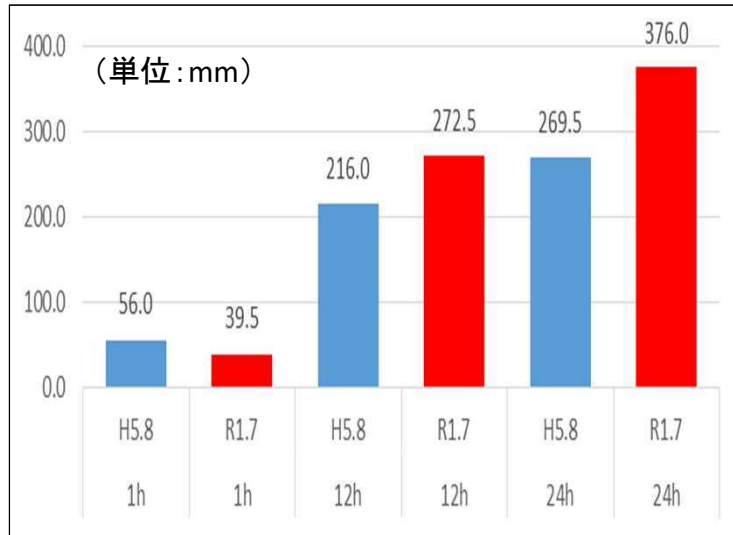
境川(溢水)

「この地図の作製に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図及び5万分の1地形図を使用した。(承認番号 平25九使, 第9号)」



○平成5年の8・6豪雨で被害を受けた河川や、近年、著しい住宅浸水被害が発生した河川について、重点的に整備してきた結果、公共土木施設(河川)災害発生件数や浸水家屋数が減少している。

1 降雨量比較 (局名:鹿児島地方气象台)



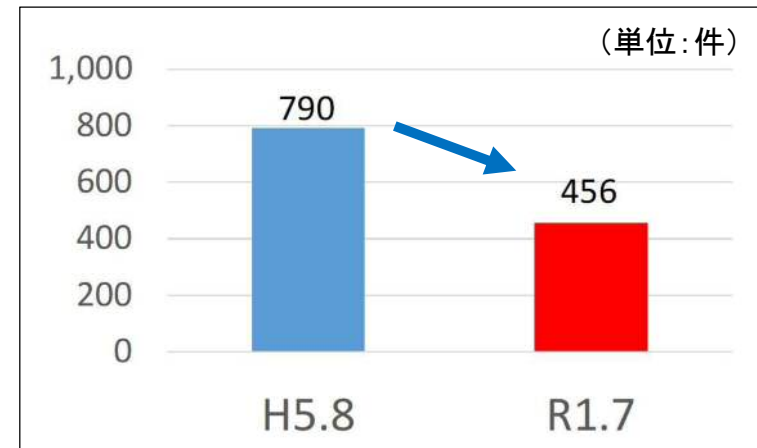
2 河川整備状況

| | 平成5年当時 | 平成30年度末 |
|-------|----------|----------|
| 要改修延長 | 1879.8km | 1913.4km |
| 改修済延長 | 463.9km | 886.7km |
| 整備率 | 24.7% | 46.3% |

約22%増

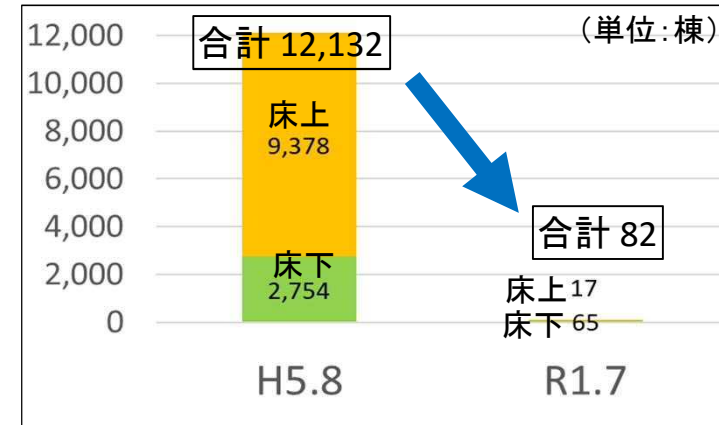
※改修済は、雨量60mm/hに対応。

3 公共土木施設(河川)災害発生状況



※R1.7発生件数は、8月31日現在。

3 浸水家屋発生状況



※H5.8の浸水は、住家のみを計上。



- 新川水系新川では、平成5年8月、9月、平成7年8月、平成15年7月等の出水が発生。浸水被害の常襲地区であったが、平成7年度から16年度(国道新川橋～湊橋)と平成18年度～平成21年度(湊橋～徳重橋)にかけて、床上浸水対策特別緊急事業を実施。【平成5年8月出水:浸水面積53ha, 床上浸水220戸, 床下浸水1,159戸】
- 今回の出水では、鹿児島地方気象台の24時間雨量において、平成5年8月出水時を大きく上回る雨量が観測されたが、橋梁架替や河道拡幅などの事業効果により、平成5年8月出水の浸水戸数1,379戸が0戸であった。



○テレビ報道におけるコメント(KYT:news every.かごしま)

住民

この間集中的に降ったが
そんなに心配するほどではなかった

キャスター

8・6水害で氾濫した甲突川や新川, 稲荷川も氾濫危険水位を超えたものの, 住宅への被害はなかった

改修前

提供: 鹿児島県

改修後

提供: 鹿児島県

2019/07/03 19:10:28

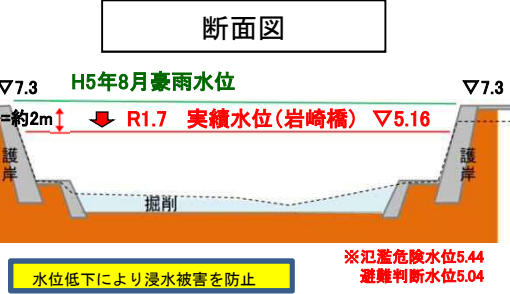
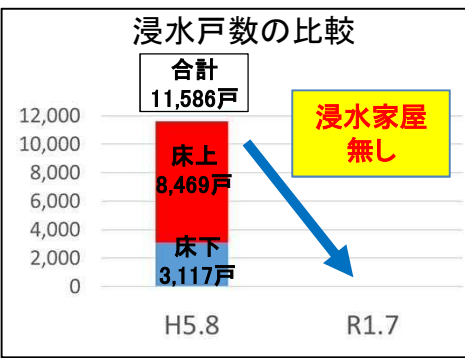
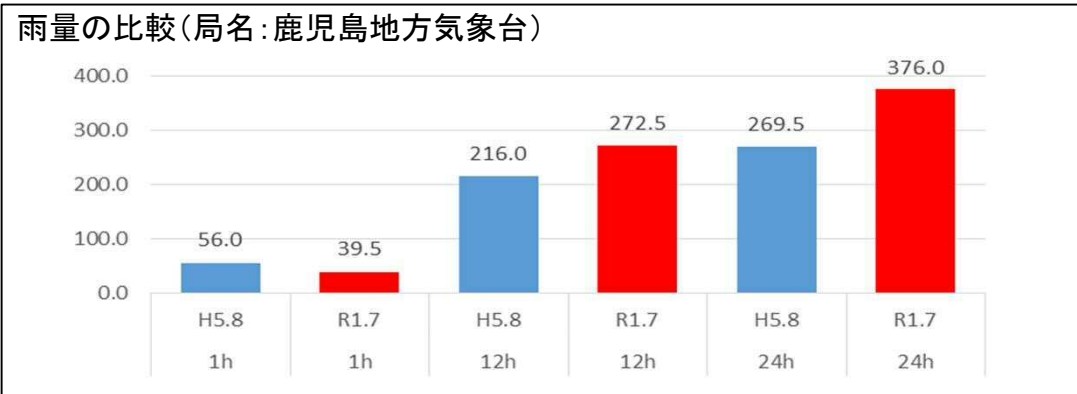
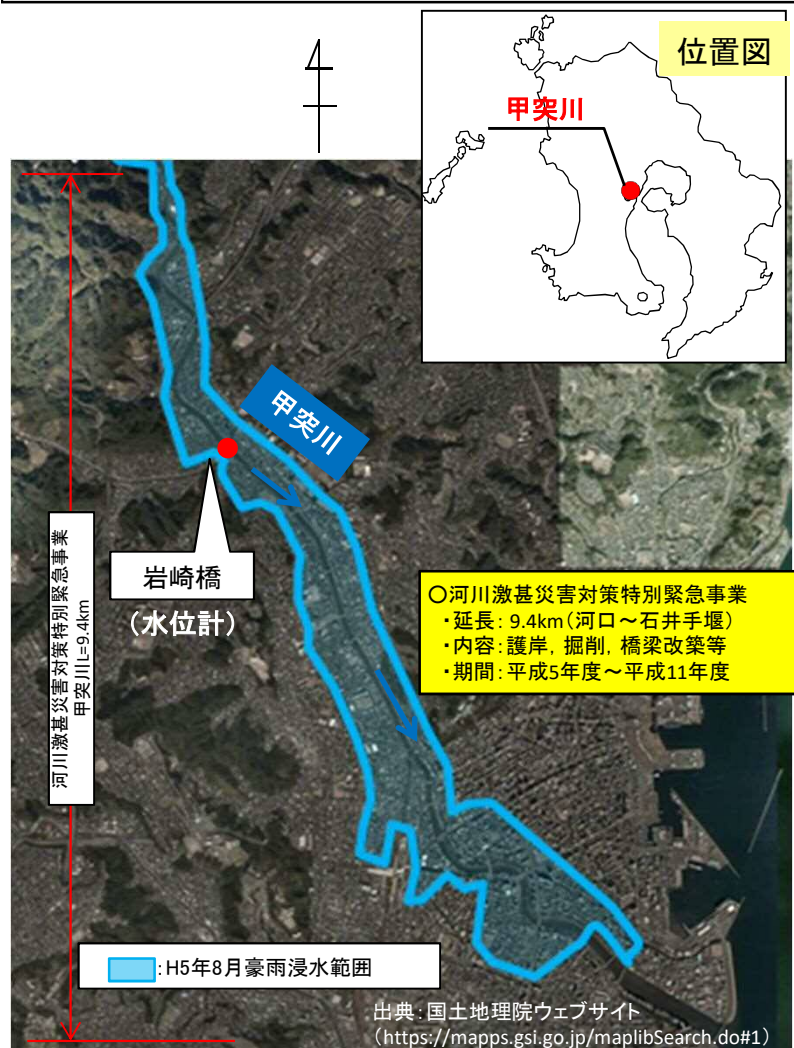
田上橋 (今回の出水状況)

| 洪水名 | 1時間雨量(mm) | 浸水家屋数(戸) |
|------------|-----------|----------|
| 昭和44年6月30日 | 40.0 | 324 |
| 昭和61年7月10日 | 58.0 | 187 |
| 昭和63年8月22日 | 52.0 | 116 |
| 平成5年8月6日 | 56.0 | 1,379 |
| 平成7年8月11日 | 99.0 | 1,283 |
| 平成10年10月7日 | 68.5 | 150 |
| 平成15年7月29日 | 58.0 | 302 |



○甲突川水系甲突川では、平成5年8月に出水が発生。平成5年度から平成11年度にかけて、河川激甚災害対策特別緊急事業を実施。【平成5年8月出水：浸水面積424ha，床上浸水8,469戸，床下浸水3,117戸】

○今回の出水では、平成5年8月出水時を大きく上回る雨量が観測されたが、河道拡幅，橋梁架替などの事業効果により、平成5年出水の浸水戸数11,586戸が0戸であった。



川辺ダムの整備効果(二級河川万之瀬川)

位置図・川辺ダム流域図



ダム諸元等

| ダム | | 貯水池 | |
|--|---|----------|-------------------------|
| 形式 | 重力式コンクリートダム | 集水面積 | 30.2km ² |
| 堤高 | 53.5m | 潜水面積 | 0.23km ² |
| 堤頂長 | 147.0m | 総貯水量 | 2,920,000m ³ |
| 堤体積 | 108,000m ³ | 有効貯水量 | 2,460,000m ³ |
| 非越流部標高 | EL165.5m | 常時満水位 | EL150.0m |
| 越流部標高 | EL160.0m | サーチャージ水位 | EL160.0m |
| 基礎岩盤標高 | EL112.0m | 設計洪水水位 | EL163.4m |
| 放流設備 | | | |
| 計画最大放流量 | 250m ³ /s | | |
| 常用洪水吐き | 幅4.60m×高さ2.70m×2門 (ゲートレス) | | |
| 非常用洪水吐き | 幅14.50m×高さ3.40m×1門 幅12.50m×高さ3.40m×4門 (ゲートレス) | | |
| 利水放流管 | φ800mm 一条 | | |
| 工事費 約123億5千万円 工期 H7.3~H15.3 平成14年3月 本体完成 平成14年10月~平成15年2月 試験湛水 平成15年6月 竣工式開催 | | | |

「この地図は、国土交通省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平7九様、第118号)」

川辺ダムの概要

○事業目的

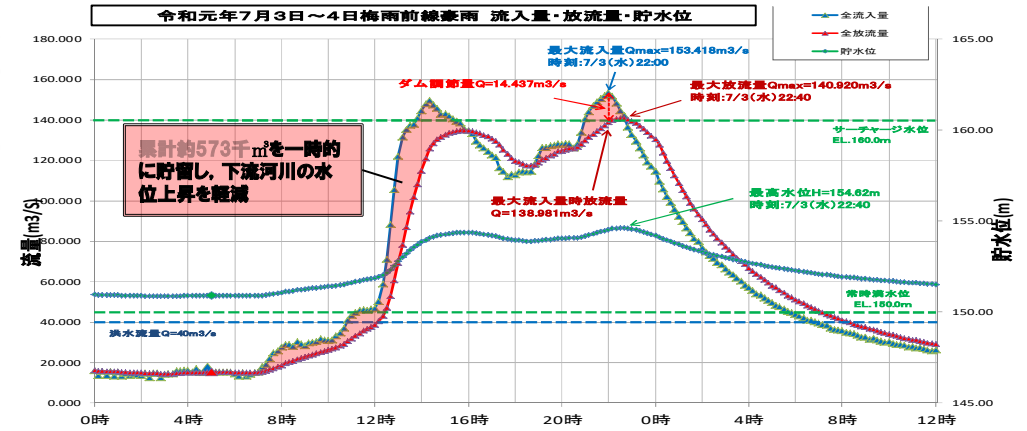
川辺ダムは、万之瀬川水系万之瀬川の鹿児島県南九州市川辺町神殿地先に、多目的ダムとして建設されたもので、万之瀬川河川総合開発の一環をなすものである。
 ダムは、重力式コンクリートダムとして、高さ53.5m、有効貯水量2,460,000m³で洪水調節、河川環境の保全及び都市用水の安全供給を目的とするものである。

○洪水調節

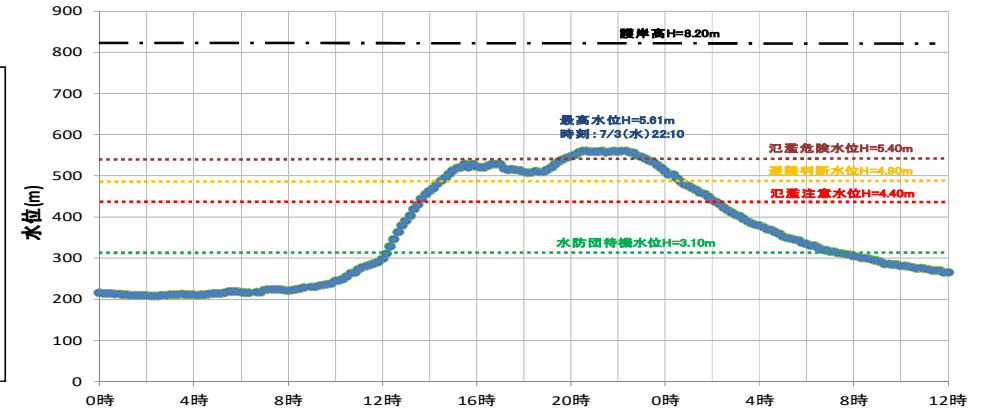
ダム地点の計画高水流量300m³/sのうち、100m³/sを自然調節方式により洪水調節し、万之瀬川沿川地域の被害を防除する。

○都市用水

鹿児島市及び鹿児島県に対し、南さつま市花川橋地点において、都市用水として、75,000m³/日(0.87m³/s)の安定取水を可能にする。
 鹿児島市の水道用水 55,000m³/日、鹿児島県の工業用水 20,000m³/日



大渡橋水位



川辺ダム雨量

